

## 薩摩硫黄島の火山活動解説資料

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方気象台

<噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げ>

薩摩硫黄島の硫黄岳で、本日（4日）05時17分頃に少量の降灰があり、噴火を確認しました。15時現在も降灰を確認しており、噴火は断続的に発生しています。噴火の発生は平成16年（2004年）10月25日以来です。

### 【防災上の警戒事項等】

硫黄岳火口から概ね 1 キロメートルの範囲では大きな噴石を飛散させる小規模な噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に警戒してください。風下側では降灰に注意してください。火山周辺では、火山ガスに注意してください。

### ○ 活動概況

薩摩硫黄島の硫黄岳で、本日（4日）05時17分頃から05時35分頃にかけて少量の降灰があり、噴火を確認しました。噴火に伴い振幅がごく小さな火山性微動が発生しました。その後、火山性地震の増加はありませんが、振幅がごく小さな火山性微動が時々発生しています。

三島村役場硫黄島出張所によると、硫黄岳から西南西に約 3 km の地点で車のフロントガラスや周辺の植物に少量の火山灰を確認しました。

本日午前、第十管区海上保安本部の協力を得て実施した上空からの観測では、雲のため火口の状況は不明でしたが、乳白色の噴煙と降灰を確認しました。また現地調査では、12時以降も島内で少量の降灰を確認していることから、ごく小規模な噴火が断続的に発生していると考えられます。噴火の発生は平成 16 年（2004 年）10 月 25 日以来です。

火山性地震は、5月15日から26日にかけて一時的にやや増加しましたが、その後は少ない状況で経過しています。GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。

### 訂正

平成 25 年(2013 年) 6 月 4 日 11 時 10 分発表の火山の状況に関する解説情報

誤：噴火の発生は平成 16 年 10 月 1 日以来です。

正：噴火の発生は平成 16 年(2004 年)10 月 25 日以来です。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータを利用し作成しました。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『基盤地図情報』、『数値地図 10mメッシュ（火山標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

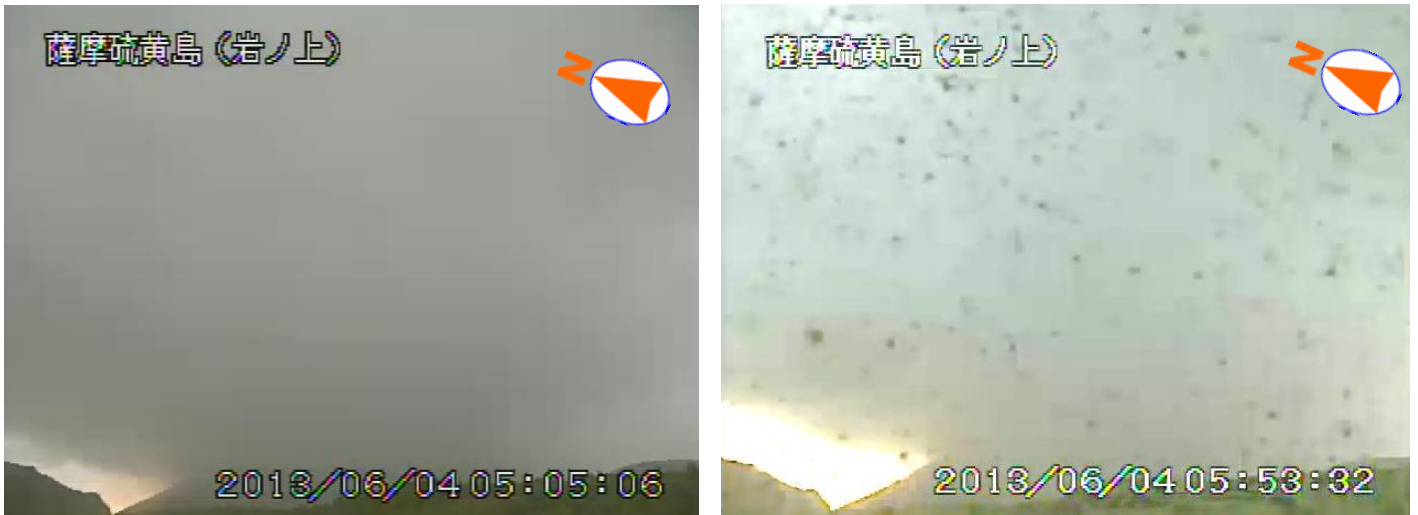


図1 薩摩硫黄島 噴煙の状況（6月4日、岩ノ上遠望カメラによる）  
05 時 17 分頃に遠望カメラに火山灰が付着していることを確認しました（右）。噴煙は天候不良のため、確認できませんでした。

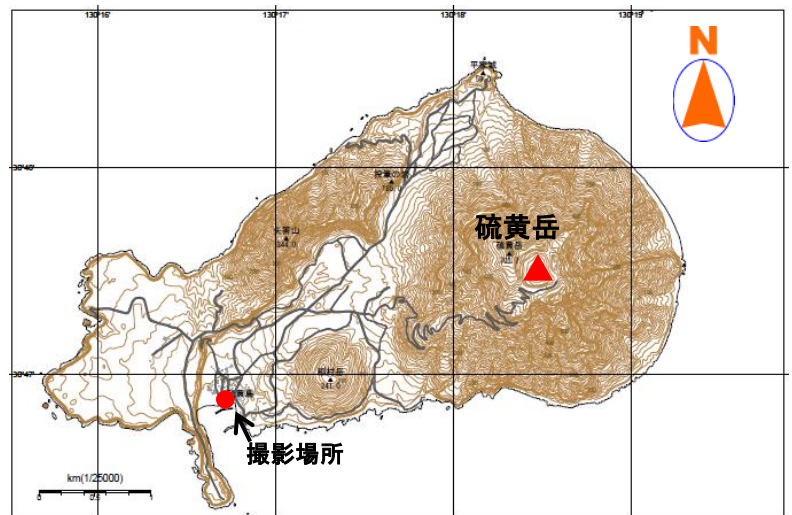


図2 薩摩硫黄島 火山灰の様子 硫黄岳から西南西に約3kmの地点で撮影（6月4日 06 時 45 分頃、三島村役場硫黄島出張所提供）  
三島村役場硫黄島出張所によると、車のフロントガラスに少量の火山灰を確認しました。



図 3 薩摩硫黄島 噴煙の状況

本日（4日）、第十管区海上保安本部の協力を得て実施した上空からの観測では、雲のため火口の状況は不明でしたが、乳白色の噴煙（黄丸）と降灰（赤丸）を確認しました。

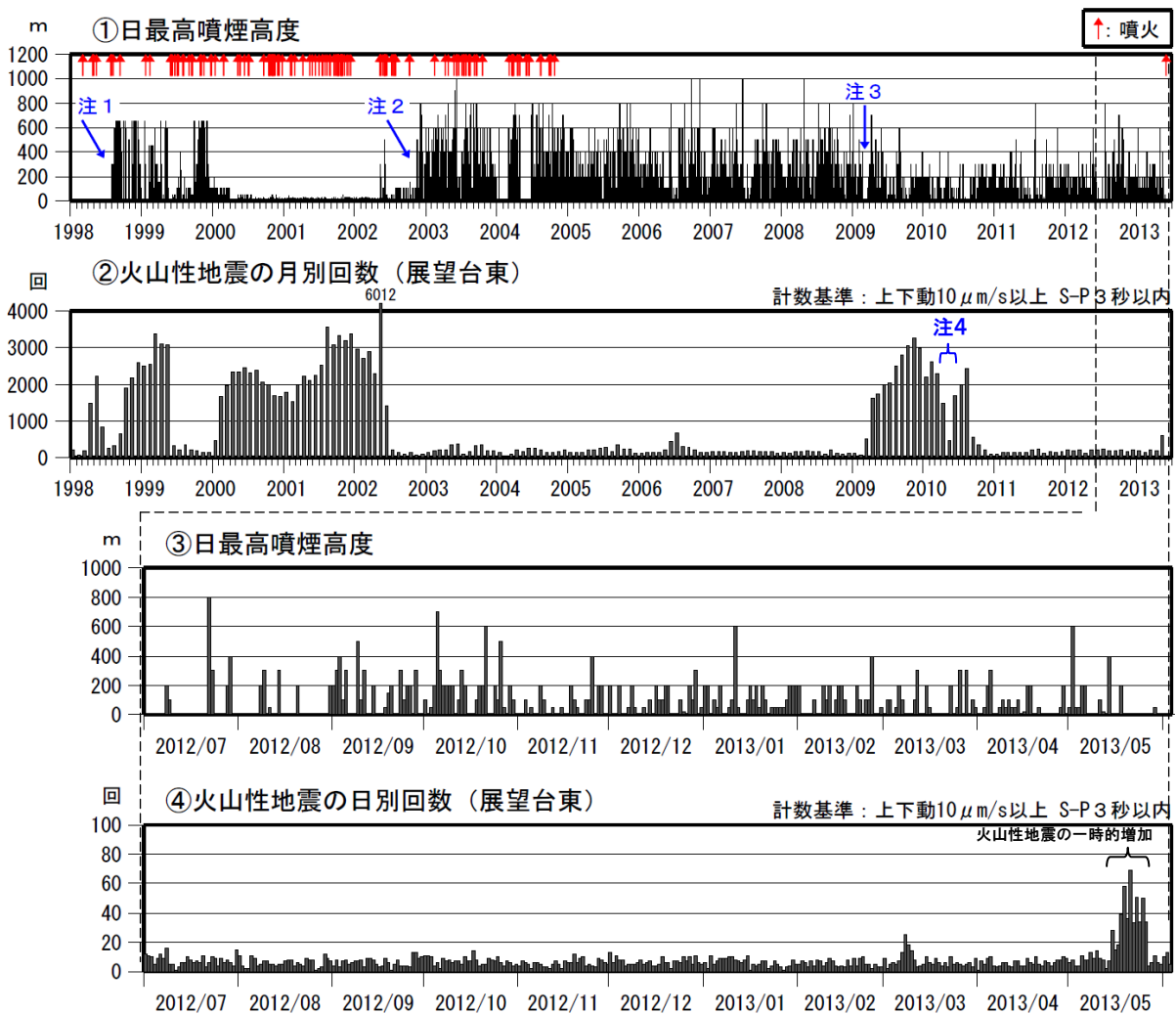


図 4 薩摩硫黄島 火山活動経過図 (1998 年 1 月～2013 年 6 月 3 日)  
2013 年 5 月 15 日から 26 日にかけて振幅の小さな火山性地震が一時的にやや増加しましたが、その後は少ない状況で経過しています。

- 注 1 1998 年 8 月 1 日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。  
 注 2 2002 年 11 月 16 日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。  
 注 3 2009 年 2 月 23 日～3 月 21 日 遠望カメラ障害のため噴煙は不明。  
 注 4 地震計障害のため火山性地震及び火山性微動の回数が不明の期間があります。

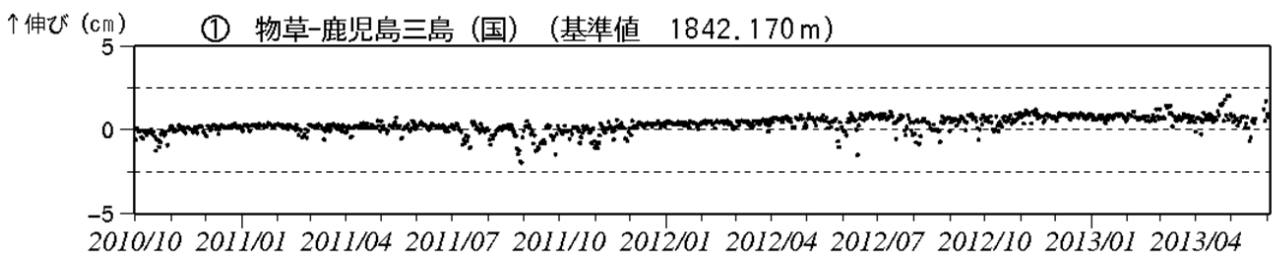


図 5 薩摩硫黄島 GPS連続観測による基線長変化 (2010 年 10 月～2013 年 6 月 3 日)  
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。  
この基線は図 8 の①に対応しています。

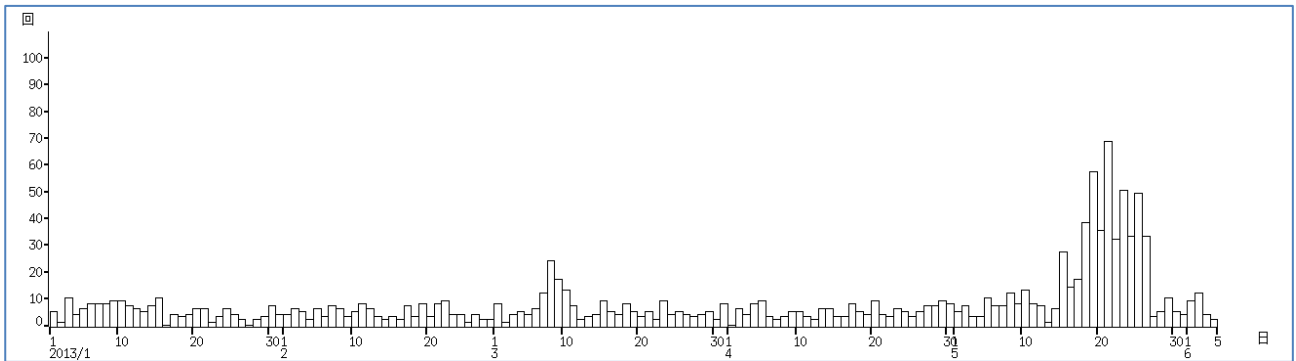


図 6 薩摩硫黄島 火山性地震の発生状況（2013 年 1 月～ 6 月 4 日 09 時）

2013 年 5 月 15 日から 26 日にかけて振幅の小さな火山性地震が一時的にやや増加しましたが、その後は少ない状況で経過しています。

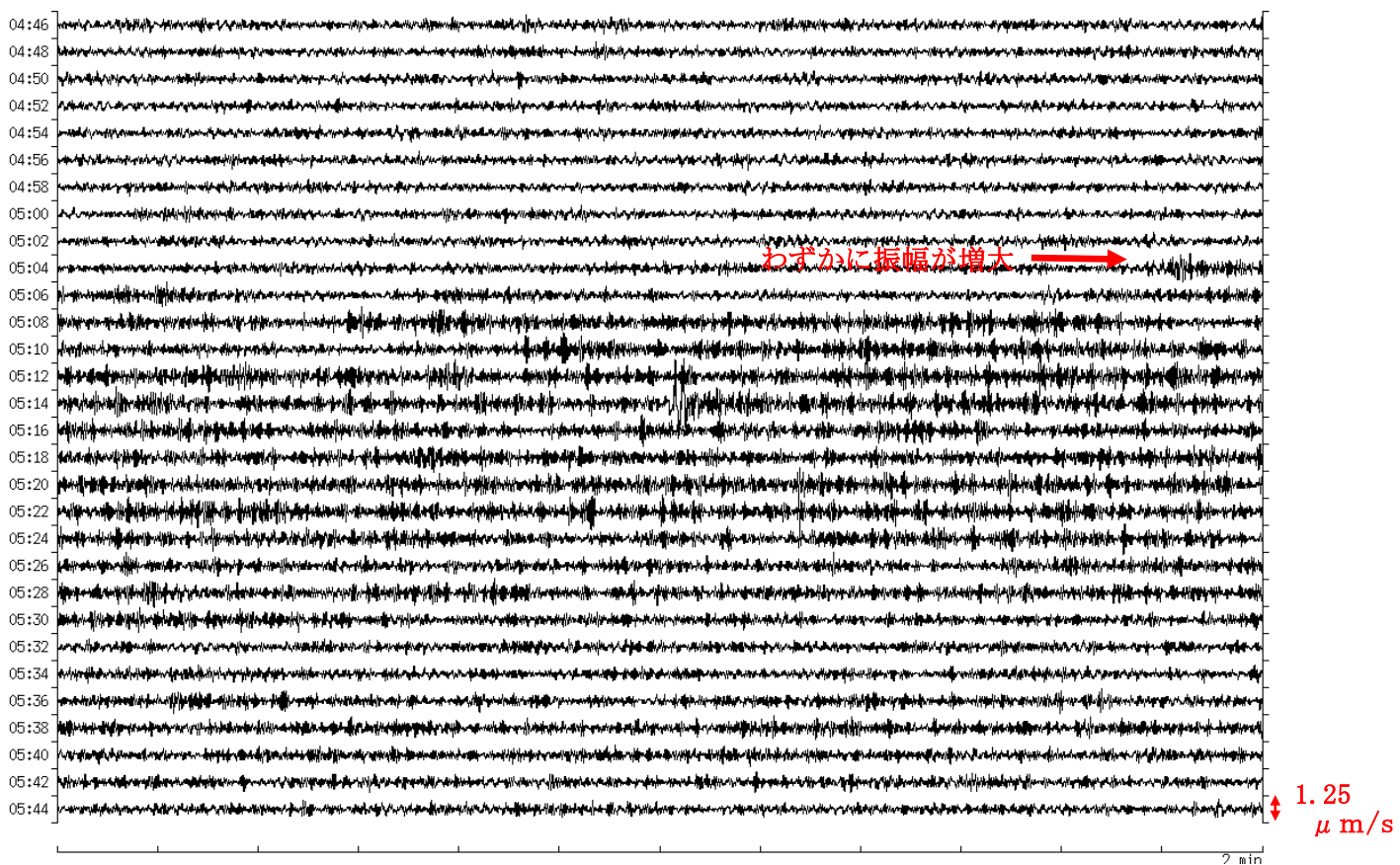


図 7 薩摩硫黄島 連続波形 2013 年 6 月 4 日 展望台東観測点上下成分（フィルタ使用）  
振幅がごく小さな火山性微動が発生しました。

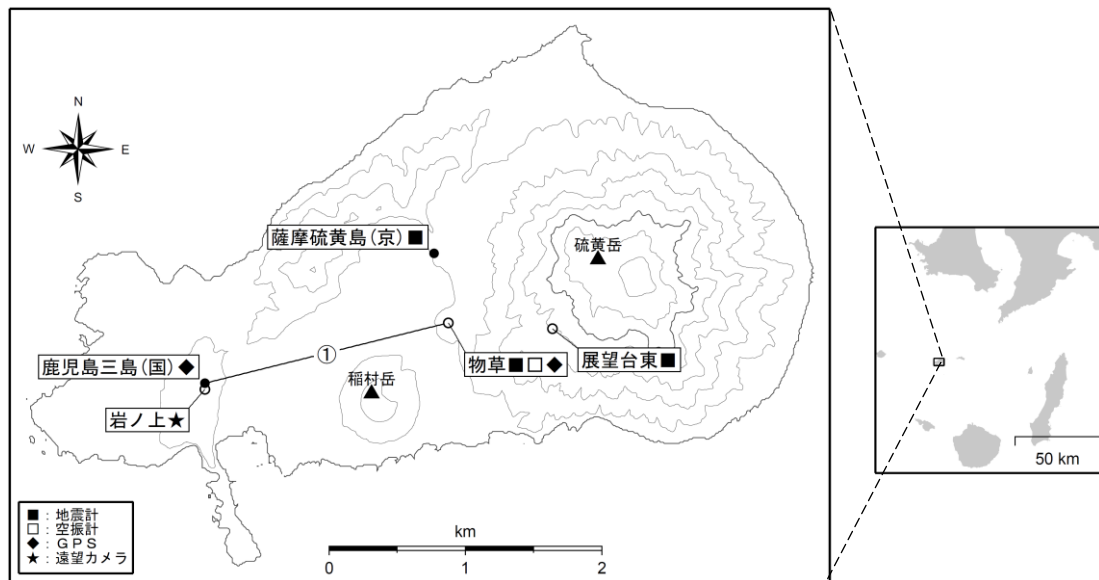


図 8 薩摩硫黄島 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(京) : 京都大学、(国) : 国土地理院